



Yonago East Weekly

【 素敵なロータリアンを目指そう、思いやりの心を持って 】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 TEL (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 TEL (0859) 36-1111
- 会長/長棟信泰 ●幹事/永島正道 ●会報/赤山俊寛

出席報告

会員数 110名

出席数 63名 欠席数 41名

出席免除会員 6名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 宮本(守)君
高橋君 小谷君

出席率 62.39 %

ビジター

メイクアップ

会員 6名 (5/19 親睦活動委員会)

会員 3名 (5/26 米子中央ロータリークラブ)

今週のお祝

結婚記念日祝 : 2日 中山晴文 君 5日 新納哲夫 君
6日 足立耕太郎 君 7日 細田耕治 君
14日 鷺見雄司 君 24日 高橋孝之 君
24日 石部裕一 君 26日 小土井秀明 君
28日 中村剛士 君

スマイルBOX 10,000 円 (977,000 円)

結婚記念日祝 : 新納、足立(耕)君、石部君
小土井君、中村君

【 会長挨拶 】



皆さんこんにちは。

5月も下旬になり、早いもので今年度もあと一か月を残すのみとなりました。

さて、本日は、卓話の講師として比較文化学者で文明批評家の「金 文学」先生に、お忙しいところ無理を言って遠路はるばる広島からお越し頂きました。また後程、金先生のご紹介をさせていただきますが、金先生は中国瀋陽の出身で民族的には朝鮮族の方です。今現在は日本に帰化されていますが、30年近く日本に居られて中国・韓国を行き来しながら様々な民族的な特性を理解され、我々と違った観点でお話をして頂けると思います。とても貴重な機会だと思っておりますので、謹聴の程、よろしく願い致します。

《 幹事報告 》

- (1) R財団寄付表彰 … 石部会員 PHF 6 回
- (2) 献血のご協力をお願い
- (3) 境港RC60周年記念式典お礼状 … 境港RCより
- (4) 「令和4年度中海・宍道湖一斉清掃」実施のご案内 … 米子市市民生活部環境政策課
- (5) 他クラブの例会変更等は掲示板をご確認下さい
- (6) クールビズ … 6月~9月末まで

R財団寄付表彰(PHF)

★ 石部会員 PHF 6 回 ★



【 次 回 プ ロ グ ラ ム 】

- 6/1 卓話「夢は叶う」 … 株式会社 クリエイティブサポート 代表取締役 伊田 武志 氏
- 6/8 「ロータリーの友」紹介 … 雑誌委員会
- 理事退任挨拶 … 理事 5 名



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

「日中韓の文化の違いをいかに理解するか」



比較文学者・文明評論家 金文学氏



皆さんこんにちは。金文学と申します。

私は中国生まれの韓国人です。親は韓国人で中国瀋陽生まれです。

私はこれまで、中国・韓国・日本・台湾・香港等で600回以上の

講演をさせて頂いております。著書はこれまで100冊は超えています。

日本語の著作も40冊くらいあります。今日のタイトルは、東アジアの

中の日本とその課題。主に韓国・中国と文化的に比較しながら「日本というのはどういうものか」、

「いかにこの世界で生き残るか」という課題について皆さんと一緒に勉強したいと思います。

私の持論でいうと「文化は青空」「政治は雲」です。文化というのはそもそも集団の人間、中国人とか韓国人とか日本人とか、その民族とか集団が作り上げた生活様式なのです。そこには恒久的なもの・政治的なもの・芸術的なもの・文学的なもの、それより低いのは物的なもの、建物とか食べ物。こういうものを文化と理解しています。基本的に「文化が青空」で「政治は雲」なのです。政治が悪くなると雲が青空を覆ってしまっ見えなくするのです。今の日本の政治はそういった事をやっているのではないかと感じています。だいたいアジアの政治は上手くいっていないと感じます。政治的な溝ができることによって相手国民との文化交流が出来ないのです。政治の雲を払って相手の本当の本質である文化を見ていきたい。そういう風に私は研究をしてきました。

一番あるべきものは何かということ、ありのままの姿を見るという事で、感情論は不要です。本当に相手を理解するには感情論は抜きにして、カメラのように物体を捉えるのです。中国・韓国・日本は同じ文化圏だと言われます。例えば漢字文化圏だとか儒教文化圏だとか、私はそれを全て解体しました。そういう定説には決定的な間違いがあります。車とかは外見はみんな似ているのです。本質を知る為にはそれを解体しなくてはならないのです。漢字文化圏とか儒教文化圏とか私なりに解体していったら全然違います。同じ漢字を使っていても違います。顔もみんな、目があって、鼻があって、口があって似ているのですが構造的に同じ顔をしている人はいないのです。構造的に違う相手の文化をいかに理解するのが大事です。

中国と韓国と日本は決定的に何が違うかということ文化の型が違うのです。外形上は非常に似ているのですが、日本の型は農耕プラス漁労。島国で周りは海。人間は敵ではなくて寧ろ友達・友人。一緒に共存しなくてはいけないので非常に温かな性格をしています。対して韓国・中国は農耕プラス牧畜です。日本人は民族的に淡泊で単純です。DNA的に見て日本人と中国人・韓国人は全然違うのです。日本人は温和で農耕民族と一緒に共同作業をします。中国・韓国人は牧畜民族で、牧畜＝闘いです。日本人は初対面の時お辞儀をします。中国人・韓国人は握手をします。握手の意味は、俺の手に武器はないという意味を持ちます。激しいのは中国・韓国人、日本人は温和です。中国・韓国・日本の違いを一言でいうと、日本は「倭(わ)」、中国は「義」或いは「闘」、韓国は「情」です。

「倭」というのは、集団の利益の為に自分の利益を犠牲にする、余り喧嘩をしない、そうする事で一つの輪を保ちます。中国と韓国は、非常に自己主義・エゴイズム・我儘で自分が優先なのです。教育でも日本は相手に迷惑をかけない教育をします。中国・韓国は反対です。お前が一位になれ・誰にも負けるなという教育を小さい時から受けます。民族的なDNAが「激しい」「勝ちたい」なんです。

中国は「義」。義という字は、上は羊、下は我です。中国文化を理解するには漢字2文字を知っていれば良いです。一つは「羊」もう一つは「貝」です。「羊」は物的な利益なのです。羊が自分のものとなる時は「義」が働きますが、自分のものとならない時は「義」は働きません。自分の利益とならない限り義理人情は働かないです。「美」は羊が大きいのが美しいのです。利益が大きいものが美しいのです。そういう民族なのです。「貝」は、資本の資、貧困は貝を分けると貧困になるのです。漢字を見たら

「羊」は物的利益、「貝」は財産、お金とかです。この2つが中国人の政治的な構造の中であって、自分の利益となる場合はペコペコしたりもします。韓国は「情」。韓国では理性よりも感情を大事にします。日本人は感情を抑制するのを美德としますが、韓国人は感情を発散するのを美德とします。法律よりも感情が優先しています。そういう民族はある意味私は幼いと思います。だから日本は大変なのです。外交の交は交戦、戦いなのです。日本人はそれを理解していないのです。今の日本人は学者さんなども真面目な事を言いません。私のような知識人というのは、本当の事を真実の事を、真相を言うのが知識人なのです。

最後に皆さんにこの言葉を送ります。「天下興亡、匹夫有責。」(国家の興亡と盛衰は(政治家だけでなく)、一般市民にも責任の一端がある。)

本日は、ご清聴ありがとうございました。